

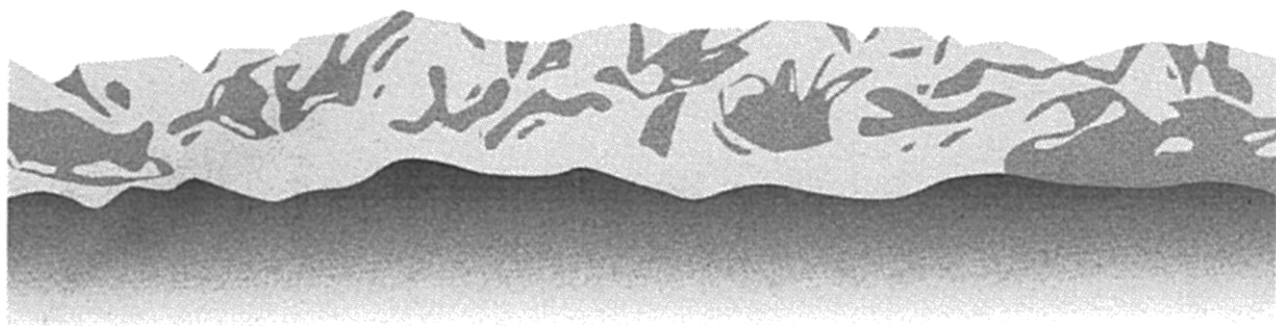
— 令和7年度 —

富山市公民館研修会 (前期)

と き 令和7年7月15日(火)

午後1時30分

ところ 大久保ふれあいホール



富山市公民館連絡協議会
富山市教育委員会

令和 7 年度富山市公民館研修会前期開催要項

- 1 趣 旨 豊かな活力あるまちづくりを目指す自治公民館の効果的な活動や地域との連携など、地域における社会教育活動の指導者として必要な資質の向上を図る。
- 2 主 催 富山市公民館連絡協議会
富山市教育委員会
- 3 日 時 令和 7 年 7 月 1 5 日（火）午後 1 時 3 0 分より
- 4 会 場 大久保ふれあいホール
富山市下大久保 1 7 7 6 - 1 ☎ 4 6 7 - 0 0 0 1
- 5 参加者 市立公民館・自治公民館関係者
- 6 研修課題 公民館が地域づくりに果たす役割について

7 日 程

13:00	受付
13:30	開会の挨拶・市挨拶
13:40	事例発表（話題提供） 協議（意見交換） （14:40 ～14:50 休憩）
14:50	特別講演
15:50	閉会の挨拶
16:00	終了

8 研修会

<司会>市立水橋東部公民館 館長 中田 裕幸 氏（第10ブロック）

（1）事例発表（話題提供）

- ① 発表者 岩瀬大町公民館 館長 武藤 勝彦 氏（第4ブロック）
春日町公民館 館長 中川 誠 氏（第5ブロック）

- ② 協 議 研修内容に基づき意見交換

（2）特別講演

講 師 富山市長 藤井 裕久 氏

演 題 持続可能なまちへ
～コンパクトシティで進化したまちが、スマートシティで深化する～

(1) 事例発表

岩瀬大町公民館

岩瀬曳山車祭を通して、
若い人や子供達と交流し、地域の活性化を図る

☆次世代に、岩瀬曳山車祭を継承する為に
(岩瀬の人々の思い)

岩瀬大町公民館 館長 武藤 勝彦

2. 人口、大町公民館

20年前対比	平成17年	令和7年	増減
富山市人口	418,563	402,412	▲3.9%
内65歳以上	89,238	122,157	+ 36.9%
	21.3%	30.4%	—
富山市世帯数	152,641	177,282	+ 16.1%
岩瀬地区人口	4,276	2,996	▲30.0%
内65歳以上	1,362	1,235	▲9.3%
	31.9%	41.2%	—
岩瀬地区世帯数	1,600	1,502	▲6.1%

- 昭和63年6月 大町公民館新築
木造瓦葺二階建て、敷地面積89㎡、建築面積82㎡
- 昭和63年：大町・59世帯200名（37年前）
- 令和7年：大町・48世帯130名（▲35%）



1. 所在地



- 北前船の廻船問屋が並び、岩瀬の中心通りが、大町通りになります
- 岩瀬大町は通称名、正式住所は東岩瀬町（千番号も2つあります）

3. 東岩瀬町の歴史 1/2

- 江戸時代初期 神通川の氾濫にて、現在の四方地区の西岩瀬の人々が移住
西岩瀬は神通川河口の西岸にあった湊町で、度々の洪水や高波で湊が埋もれ、
東岩瀬へ移住してきた（約360年前）

※西岩瀬の諏訪神社の神霊を分霊・移転遷座（曳山車の起源説1、約370年前）
※東岩瀬はほぼ全町消失の大火のあと、復興を祈い行灯山を曳いた（起源説2、約230年前）

- 加賀藩の宿場町（参勤交代の往還道）、北前船で栄えた港町



米田家



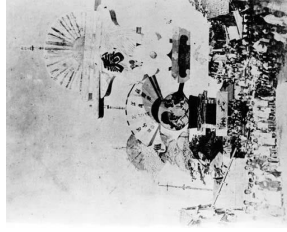
森家



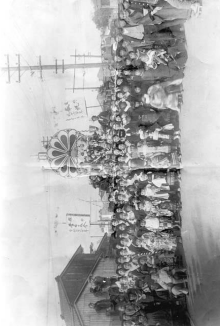
馬場家

3. 東岩瀬町の歴史 2/2

- 明治22年 上新川郡東岩瀬町（西宮村と合併し東岩瀬町が発足）



⇐明治33年頃の曳山車：
高さは15m以上あった



• 明治43年
東岩瀬全町一斉
に電燈点灯

↑昭和15年頃の曳山車：電線の架設以降、
たてもんの高さは低くなっていった

- 昭和15年 富山市に編入、後に県内最大級の工業地帯として発展する
- 平成18年 J R富山港線を路面電車化、富山ライトレール開業
岩瀬浜駅よりJ R富山駅まで、日中は15分間隔で運行（利便性が向上し、利用客増加）
観光客増加の一因になっている ※同時期に大町(新川町)通りが無電柱化

5

4. 公民館行事 1/4

- 1月 餅つき大会
- 3月 定期総会 お雛子供習開始
(約2ヶ月間練習)
- 5月 春季列大祭 曳山車祭



週2回、公民館にて練習



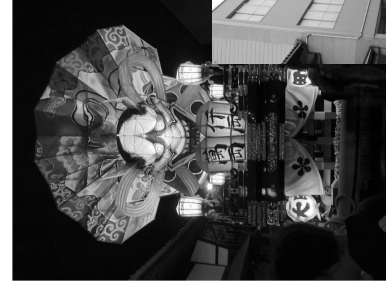
先ずは宵祭に、町内にて成果披露



17日本祭り、今年は土曜日で、朝から
子供たちも一緒に山車を曳いていました

6

4. 公民館行事 2/4



夜のたてもの（行灯）
⇐（表） ⇒（裏）

↑集合写真：曳山車祭当日
ならではの人数
一年ぶりに見る人、県外
から帰ってきた人等、大
勢が参加してくれました



7

4. 公民館行事 3/4 岩瀬曳山車祭 夜の曳き合い



① お互い、2本のロープを山車の左側から出して走る



② 山車が動き出す



③ 山車同士が、ぶつかった瞬間（後ろが持ち上がる程の衝撃）



④ お互い、負けじとロープを曳き合う

8

4. 公民館行事 4/4

- ・ 6月 町内側溝清掃
- ・ 7月 釣り大会&BBQ
- ・ 8月 納涼祭

※公民館前の道路を封鎖
(道路使用許可取得)
曳山車祭と同様に、町内
外からも、子供を連れて
参加してくれれます。

- ・ 10月 日帰り旅行 (2年に1度)

- ・ 12月 クリスマス会

※手作りケーキを子供達
と一緒に作りました。

年末町内夜警

※1班～7班が順に巡回



釣り大会後、たてもん作小屋にてBBQ



9

6. まとめ 町内会の活性化を図るために

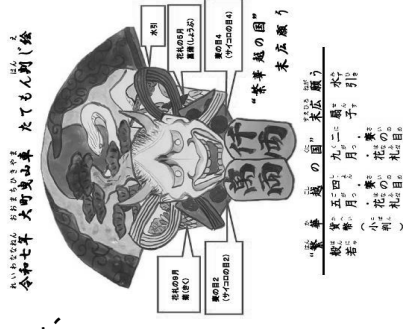
※大町曳山車若衆の会 (大遊会) の存在

- ・ 人口減少・高齢化で町内会だけでは、様々な行事は実施できない
- ・ 幸い、大町には曳山車の現役世代で作っている“大遊会”という組織があり、町内会と一緒に活動している
(町内に在住の人をはじめ、町内から転出した人やその子供たち、また大町に縁のある人たちが集まって出来た会)
- ・ 曳山車祭を通して、信頼関係ができ、親同士・子供同士の交流も生まれる
(大遊会の参加によって、若者や子供たちが多く集まって、町内活動が活性化している)
- ・ 人口減少で曳山車祭の存続が危ぶまれる中、いかに日頃より親睦を深め、町民同士の輪を広げる事が大切
(町内に在住の人だけでなく、転出した人やその子供たちが祭以外でも、いつでも行き来できる環境が出来ている)

11

5. 岩瀬曳山車祭の特色と課題

- ・ 岩瀬諏訪神社春季例大祭の神事と一貫した祭
日中の神輿渡御のあと、夜の還幸祭後に、曳き合いが始まる
- ・ 曳き合いに代表される通り、山車と山車をぶつけて、ロープを曳き合う通称“けんか山車”
- ・ たてもんと呼ばれる行灯は毎年新たに作成
(その年の世相を反映した判じ絵を元に、木材・竹・針金・布・紙などを材料にして作成し、絵付け)
- ・ 祭が終わった翌日には、たてもん解体
※毎年作成・解体が特徴
- ・ 若者の町内外への転出 (人口減少)
- ・ 曳山車の保存・改修費用の捻出 (各曳山車の負担)
- ・ 伝統の継承に向けての取り組み
(曳山車祭の日程変更や観光化の必要性など、多くの課題)



10

ご視聴ありがとうございました

12

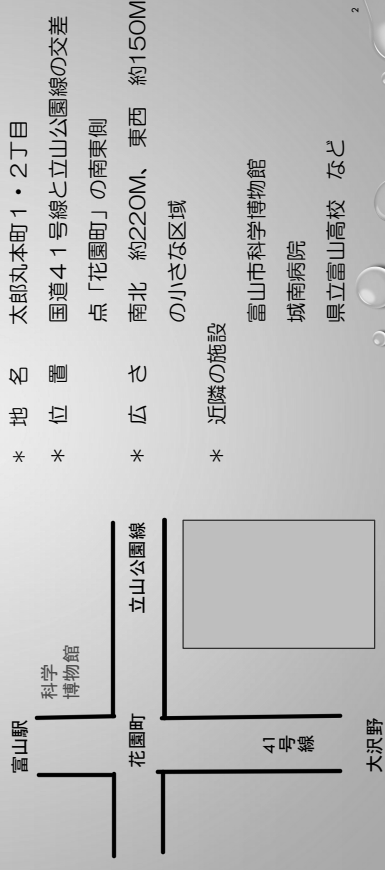
住民のコミュニティの 拠点としての公民館

春日町公民館
館長 中 川 誠

2 春日町の歴史

- 昭和42（1967）年 太郎丸1区町内会の8及び9班が分離独立して「春日町町内会」を設立
- 昭和60（1985）年 春日町地域区画整理事業開始
- 平成 8（1996）年 春日町公民館完成
- 平成 9（1997）年 春日町公園整備（桜の木植栽）

1 春日町の位置



植栽した桜の木

3 春日町のあらまし

- ・世帯数 70世帯（事業所24軒）
- ・小学生 4名
- ・高齢者世帯 17世帯（75歳以上のみの世帯）
- ・アパート 1棟
- ・貸家 6軒
- ・非居住家屋 7軒
- ・その他 新規住宅地がない

4 春日町公民館

- ・昭和44（1969）年 公民館建設基金積み立て開始
- ・平成元（1989）年 公民館用地確保運動
- ・平成8（1996）年 公民館完成

※ 春日町区域のちよど真ん中にある春日町公園（市）の一角に建ち、公園との複合的な利用で、小さいけれど行事等の実施に便利

〔敷地〕 82.73㎡（うち、市からの借地39.97㎡）

〔建物〕 木造瓦葺平屋建て 72.30㎡



公園の一角に建つ公民館

公民館全景



5 公民館をコミュニティの拠点に

- 公民館のない時代
 - ・ コミュニティの場がなく、行事の実施に苦勞
 - ・ 住民相互のコミュニケーションがほとんどない
- 公民館ができて
 - ・ 公民館を拠点に行事を実施
 - ・ 町内住民とのコミュニケーションがとれる

6 町内会活動

4月	町内会総会	9月	樹木の薬剤散布
4月	役員会等（年間通じて）	10月	住民大運動会
5月	公園花壇の除草、球根掘り上げ	11月	秋祭り（子ども神輿）
6月	公園花壇の花苗植込み	12月	公園花壇の花苗植え込み
	樹木の薬剤散布	1月	年末警戒パトロール
	公園の除草		新年初顔合わせ
7月	ラジオ体操		
8月	夏祭り（納涼祭）		



総会（世帯の約7割近くが参加）

役員会（年6～8回開催）



公園内のメイン花壇（大きい分だけ管理が大変です）



児童花壇（児童会と一緒に）

第二公園花壇（道路沿いの花壇）





樹木の薬剤散布（年2回、庭木・公園樹木・街路樹に散布）

13



公民館の前でラジオ体操（少ない人数ですが頑張っています）

14



秋祭りく子ども神輿>（町内の全戸を回ります）

15



7 公民館独自の行事

おしゃべり会「カフェものがたり」
の実施

- 令和4年から、毎月1回公民館に女性たちが集まり、おしゃべりをします。話題は肩の凝らない話で、好評です。既に開催は39回を数えています。
- 公民館として、駄菓子の提供などの補助を行っています。

16

8 春日町公民館の課題

- 新しい事業の創設
公民館を利用しての新しい事業の検討
- 災害に対応できる公民館
災害物資の備蓄ができる公民館を目指す

17

- ご清聴ありがとうございました

18

MEMO

[illegible]